MAX® ELECTRONIC CHECK WRITER

電子チェックライタ

EC-610C充電式

取扱説明書

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス電子チェックライタをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い 本機が故障し修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

メモ 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

■絵表示について

△ 記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。

● 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警告

- **本機は絶対に分解または改造しないでください。**火災、感電、故障の原因になります。

- **本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。**故障や感電、けがの原因になります。
- **電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。**火災の原因になります。
- **電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。**コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の恐れがあります。
- **本機の内部に指を入れないでください。**けがの原因になります。
- **水、薬品などが本機にかからないようにしてください。**故障や火災、感電の原因になります。

- **電源はAC100V専用コンセントを使用してください。**100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。

- **万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。**そのまま使用すると故障や火災、感電の原因になります。
- **故障のまま本機を使わないでください。**煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。**電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。**

ご使用上の注意

⚠ 注 意

- **大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。**電圧が下がり、本機が誤動作する可能性があります。
- **紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。**火災や故障の原因になります。

- **インクロールを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
- **長時間使用しない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
  無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

- **電源プラグは定期的に清掃してください。**長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。**コードが破損して火災や感電の原因になります。
- **本機は必ず水平に設置してください。**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

ご使用上の注意

お願い 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。

1．直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
2．ホコリや湿気の多い場所
3．傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4．温度が 0 ℃以下、40℃以上になる場所

●充電でご使用中バッテリーが空になるとブザーが鳴ります。その場合には、使用をさけ、充電を行った後ご使用ください。そのままご使用になると正しく印字できないばかりでなく、故障の原因になります。

●紙以外のシートや証券用紙以上の厚紙（ダンボール等）には印字しないでください。また、証券を 2 枚以上挿入しないでください。紙づまりをおこし故障の原因になります。

●印字中は用紙が自動的に左側に送られますので、無理に引き抜いたり、送りを止めたりしないでください。また、紙が移動する方向に物を置かないでください。正しく印字できないばかりでなく故障の原因になります。

ご使用上の注意

お願い

●印字中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを切らないでください。故障の原因になります。

●空印字をすると耐久性が落ちるばかりでなく、証券の裏を汚す原因になりますのでさけてください。万一空印字をしてしまった場合には、用紙の裏の汚れを防ぐため、不用の紙に一度印字して汚れを取ってからご使用ください。

●インクロールは専用インクロール（R－50）をご使用ください。

市販のインク、アルコール、油等は絶対に補給しないでください。故障の原因になります。

●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

目 次

1 各部の名称 …… 7

2 操作方法 …… 8

3 インクロールの交換 …… 11

4 トラブルとその処置 …… 12

5 充電時間と発行枚数の目安 …… 13

6 ニッカド電池の交換 …… 14

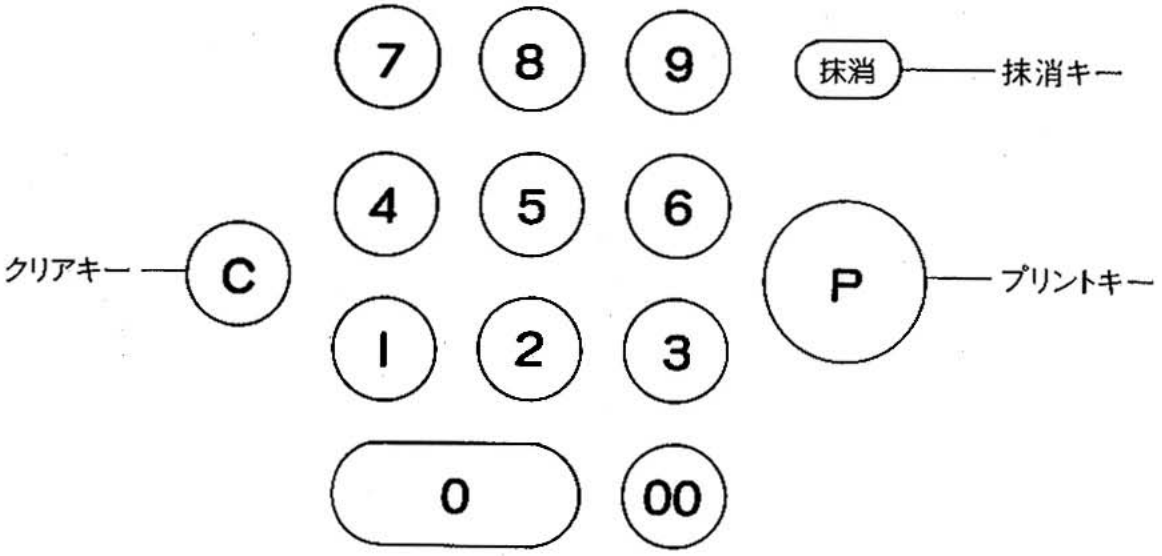
7 商品仕様 …… 15

8 保証書とアフターサービス …… 16

1 各部の名称

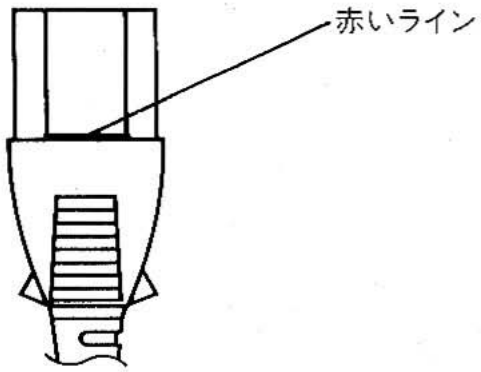
●外観

●キーボード部



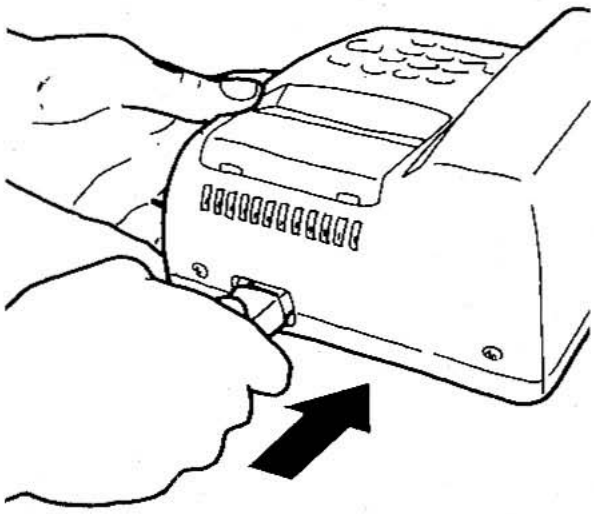
2 操作方法

❶左手で本機をしっかりおさえ、右手で電源プラグを持ち、図のようにプラグの赤いラインまで確実に押込みます。

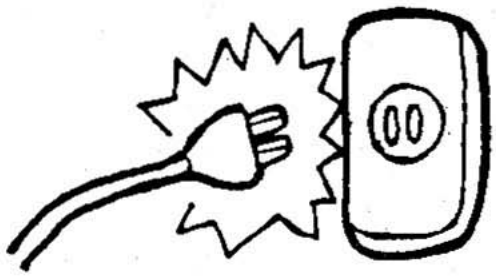


お願い

●プラグを本機に押込み時、きつく感じますが、プラグの性能を維持するためのものです。途中で止めず必ず赤いラインまで押込んでください。

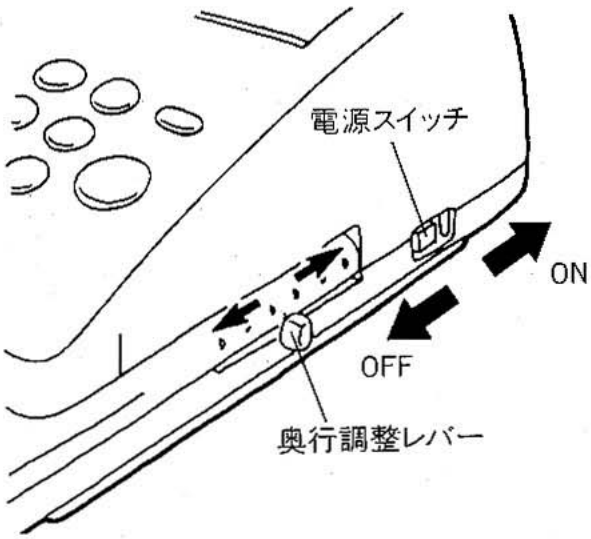


❷電源コードを100V専用コンセントに差し込みます。



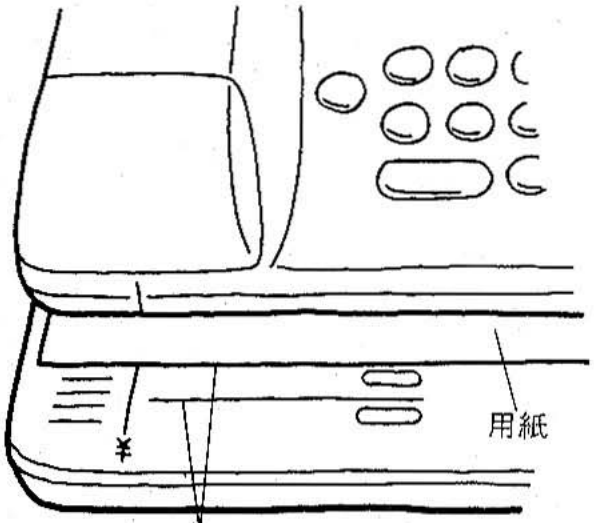
❸電源スイッチを“ON”にします。表示部に“0”が表示されます。

❹奥行調整レバーで印字奥行を調整します。



メモ

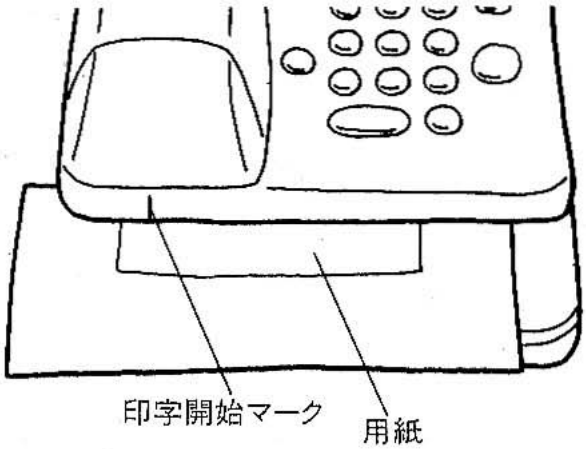
●手形、小切手の場合には紙合せマークに用紙の下端を合わせます。



メモ

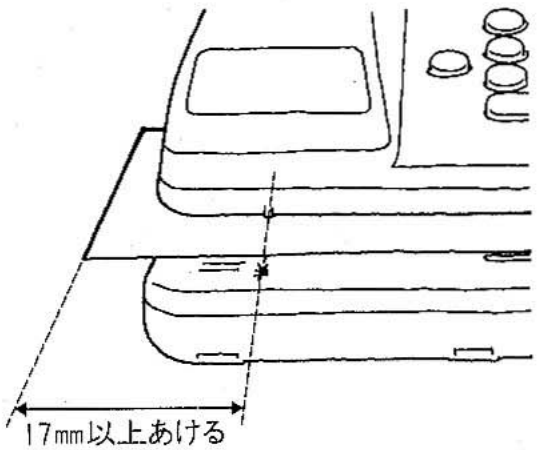
●証券以外の場合（領収書など）には、奥行調整レバーの目盛、テーブルの紙合わせマーク、字輪マークを目安にしてください。

❺左右位置は、用紙の印字開始位置を印字開始マークに合わせます。印字開始マークの位置に¥が印字されます。

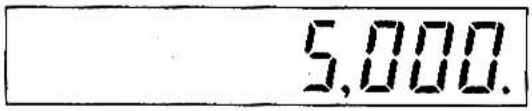


お願い

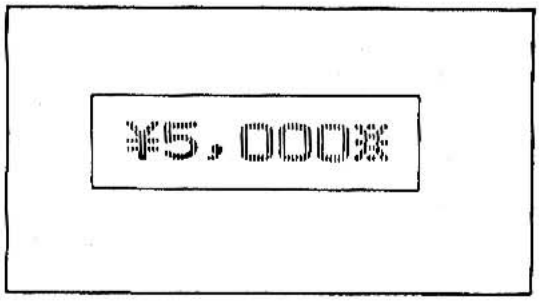
●本機の機構上用紙の左端より印字開始部が17㎜以上ないと用紙が送られず、１ケ所に重ね印字してしまい証券を汚すおそれがあります。
ご使用の際は下図のように用紙を正しくセットしてください。



❺数字キーを押して希望の金額を入力します。



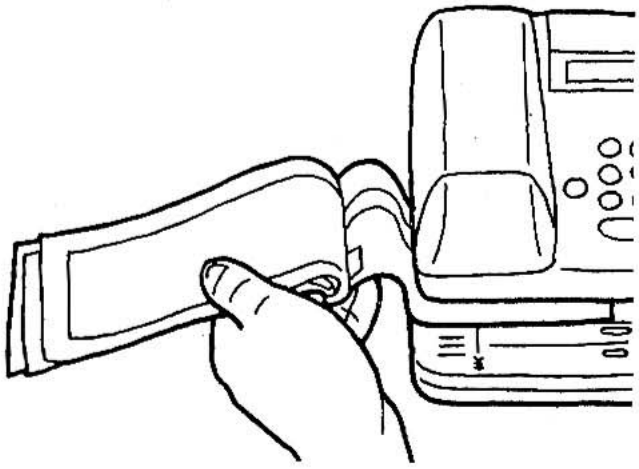
❻Ⓟキーを押します。



メモ

●同じ金額でもう一枚必要な場合には、用紙を入れ、そのままⓅキーを押します。

●別の金額をご希望の場合は、そのまま数字キーを押して入力してください。
©キーを押す必要はありません。



●冊子のまま印字する場合には、送られる用紙が上になるようにしてください。

●印字をした後、その金額が間違ったときは、©キーを押して表示を“0”にし、用紙を再セットして、抹消キーを押します。図の様に抹消されます。

●印字位置シールのご利用方法
手形・小切手・領収書などの位置合わせ、奥行調整の目印として図のようにテーブル、ケースに貼ってご使用ください。

3 インクロールの交換

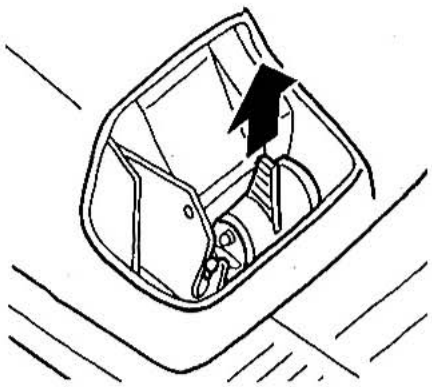
⚠ 注 意

●**インクロールを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

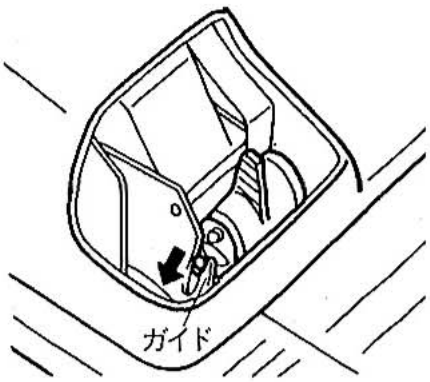
●ご使用中印字がうすくなりましたら、下記の要領でインクロールの交換を行ってください。また、交換時テーブルにインクが付いて交換後に印字する時、証券の裏を汚すことがありますので、不用の紙を入れて行ってください。

❶インクロールドアを図のようにはずします。

❷セットされているインクロールを抜き取ります。



❸新しいインクロールを図のようにセットします。

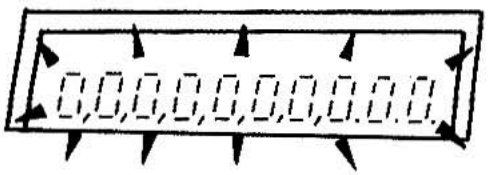


メモ

●インクロールは別売となっておりますので、本機お買上げの販売店でマックス電子チェックライタ専用インクロールR－50とご指定の上お買求めください。

4 トラブルとその処置

メモ　ご使用中トラブルが発生した場合には、下表を参照して本機を確認してください。

症　状	処　置
コンセントに差し込んで使用しているが、“ピー音”が鳴って作動しない。	電源プラグが本体にしっかりと接続されているかを確認してください。 （本文８ページ操作方法①参照）
充電してコードなしで使用しているが、“ピー音”が鳴って作動しない。	充電中に電源プラグが本体にしっかりと接続されていないと“未充電”になります。電源プラグをしっかりと接続し、再充電してください。 （本文８ページ操作方法①参照）
表示が全桁“０”表示になり、点滅して作動しない。 （用紙が抜けなくなったり 用紙がさし込めなくなった） 	電源スイッチを“ＯＦＦ”にして再び“ＯＮ”します。次に１桁目の“０”を確認後、Ⓟキーを押します。 （軽度のトラブルの場合にはこれで直り、再びご使用になれます。）

お願い　Ⓟキーを押しても“０”が点滅してご使用になれない場合には、お買求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス㈱にご連絡ください。

5 充電時間と発行枚数の目安

●下表は充電時間と発行枚数の目安を表した表です。あくまでも目安としてご使用いただき、トラブル等の防止のため早めの充電をお進めします。

（温度20℃での使用時）

充電時間	発行枚数の目安
8時間	50枚
24時間	150枚
36時間	220枚

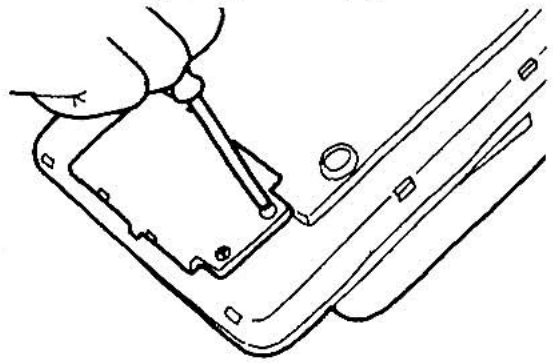
6 ニッカド電池の交換

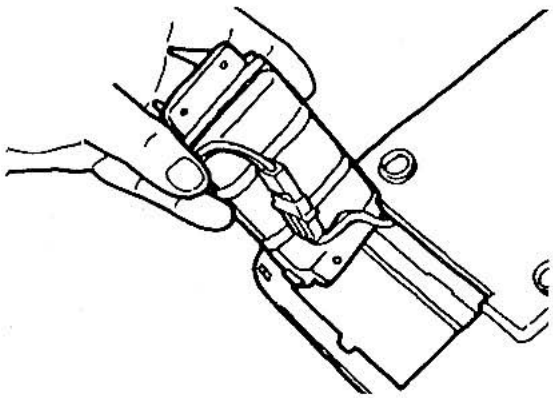
●本機は充電用バッテリーにニッカド電池を使用しています。電池の特性上充電、放電を繰返すうちに性能が低下し充電容量が減少します。充電容量がいちじるしく減少した場合には下記の容量で交換してください。

お願い

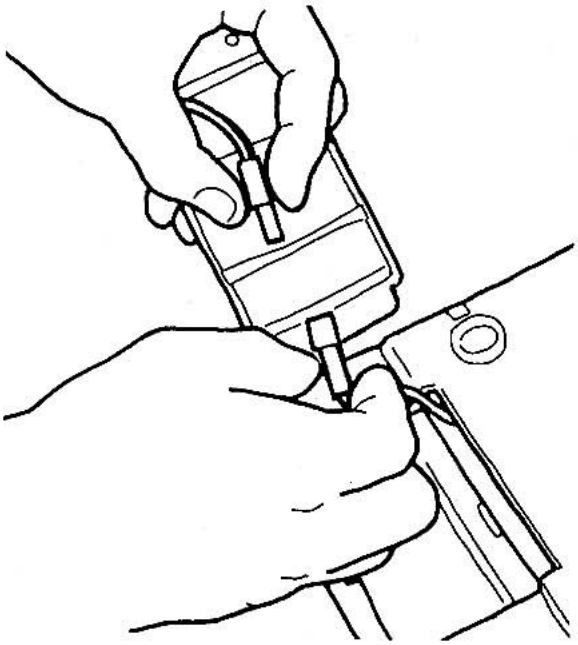
●電池パックはマックスサービスでお買求めください。なお、電池の交換も承っておりますのでご用命ください。

❶本機裏側の電池ブタのネジ２本をはずし、使い終わった電池パックを取り出します。





❷電池パックのコネクターを図のようにはずし、新しい電池パックと交換して逆の手順で組み付けます。



お願い

●お客様ご自身で交換した電池はお捨てにならないで、各地区の処理方法に従い処分してください。

7 商品仕様

商品名	マックス電子チェックライタ　EC−610C
入力桁数	最大10桁（¥、，、※は除く）
印字方式	シリアル印字方式
インキング	インクロール方式（専用インクロール R−50）
機能	刻み印字、リピート印字、クリアキーによる入力訂正、抹消機能
印字最大奥行	80mm
外形寸法	(幅)180mm×(高さ)95mm×(奥行)245mm
重量	2.0kg
消費電力	定格最大23W
電源	AC100V、50/60Hz、Ni-cdバッテリー内蔵
使用温度、湿度	温度0℃〜40℃　湿度80%RH以内
充電時発行枚数	24時間充電時150枚程度（20℃での使用時）

8 保証書とアフターサービス

■保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間後の修理はお買求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス㈱窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

●お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録され、同時に保証書も有効になります。

■アフターサービスについて

●この商品はお持ち込み修理品となっております。
お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス㈱窓口にお持ち込みください。